

高齢者の健康考え献立

川崎
医福大生

医療機関と連携、提供



お年寄りの健康づくりに貢献し

月に1回メニューに加
栄養士などを目指す
臨床栄養学科の学生
手がけたのは、管理
有志約40人と、フレイ

ようと、川崎医療福祉大（倉敷市松島）の学生と市内の医療機関が連携し、市玉島市民交流センター（同市玉島阿賀崎）にあるカフェWAGONのランチメニューを考案した。地元産の野菜や米も使って栄養バランスに配慮した内容で、18日に初めて提供。用意した約60食を完売した。今後も



学生が考案したメニューの一例

ル（虚弱）予防に取り組む小野内科医院（同市玉島八島）。学生に医院の知り合いがいた縁で話が持ち上がったといい、今春から共同でレシピ開発に取り組み、カフェの協力を得て提供が実現した。

初回メニューは、ひじき入り豆腐ハンバーグかサバの南蛮漬けに、サツマイモのレモン煮、キノコのシヨウガしょうゆあえ、コーンご飯、ホウレンソウのすまし汁。塩分を抑え、だしやシヨウガでうまみを感じられるよう工夫しており、カフ

エには学生4人も訪れて盛り付けを手伝った。味わった同市玉島八島の姫井洋子さん（85）は「おいしかった。また食べた」と笑顔。2年田中千尋さん（20）は「喜んでくれる姿を見られてうれしい。将来は大勢の健康に寄与できる管理栄養士を目指したい」と話していた。

味わった同市玉島八島の姫井洋子さん（85）は「おいしかった。また食べた」と笑顔。2年田中千尋さん（20）は「喜んでくれる姿を見られてうれしい。将来は大勢の健康に寄与できる管理栄養士を目指したい」と話していた。次回は11月19日の予定。（仁井名小百合）